

## 在宅看護演習 1単位（30時間）

科目目標：1. 在宅看護の対象の健康及び生活上の問題を解決するための技術を事例を通して習得する。

講師：原田 典子（教員）

評価方法：実技・レポート及び学ぶ姿勢により評価する

テキスト：系統看護学講座 統合分野 在宅看護論，医学書院  
公衆衛生がみえる 第2版 メディックメディア

単 元	教 育 内 容	時間	授業 形態	備 考
看護過程の 展開	1. 在宅看護の看護過程展開 1) 慢性呼吸不全で在宅酸素療法を必要とする患者の事例展開 ・ 肺気腫	16	演習	
	2. 訪問場面のロールプレイング ・ 訪問時の挨拶や身だしなみと訪問目的の説明 ・ 対象のニーズの尊重、敬語などの言葉遣い ・ 感染予防対策などの実際 ※事例を通して実践場面を発表し考察する	6		GW
	3. 在宅看護に役立つ看護用品の工夫 ・ リハビリに必要な用具の工夫 ・ 安楽な体位の保持や固定などに使用する物品 ・ 環境整備の工夫など ※事例を通して工夫点を発表し考察する	4		GW
	4. 清潔・排泄への援助の実際 ・ 在宅にある物品を用いての援助 ※事例を通して工夫点を発表し考察する	4		GW